平成26年度科学研究費助成事業 実績報告書(研究実績報告書)

1	. 模	幾関	番	号			1	4	6 0 3	2. 研究機関名	奈良先端科学技術大学隊	完大学
3	. 矽	究	種目	名		基盤	登研?	究(B)	4. 研究期間		7年度
5	. 誃	果題	番	号		2	5	2	8 6 0 4 2			
6	. 矽	究	課題	名		TPC	O結晶	晶の量	量子コヒーレンスがもたらす	超放射現象		
7	. 矽	F究(代表	者								
		石	Т :	究	者	番	号	<u>1</u>	研究代表者名	所「	属 部 局 名	職名
	0	0	2	2	0	1	7	9	ヤナギ ヒサオ 柳 久雄	物質創成科学研究科		教授
8	. 矽		分担 		=	——		1	研究分担者名	新屋 江 :	办 <u>機関</u> 名,如尼夕	
		11	开 :	究	者	留	5	ī	が 光 ガ 担 省 名 カツキ ヒロユキ	物質創成科学研究科	究機関名・部局名	職 名 准教授
	1	0	3	9	0	6	4	2	 香月 浩之 	初貝周 以代子 九代		/庄4X1支
9			実績			مد حدا	7 \F	9 7:T n-1	· BB 소 (V) · 소 II° II 그 파니스 X코(스 (V	ᆥᅅᄱᅙᄞᅜᆂᄜᅙᆋᇉ		
	単純	喆晶を	を作り	製し	て時	間分	·解乳	光測	₹間を伴ったパルス型の狭線化 定を行い、以下の成果を得た ズ依存性	,発光の起源を明らかに :。	- 9 るにめ、新ににp-sexipn	enyi (p-6P)を用いて
	サイ遅延	イズ/ 延時	が100 gは、	-40 12	0μm 5μm	の範の結	囲て温て	で異な では20	:る菱形薄板状単結晶を作製し) ps、260μmの結晶では120μ	os、385μmの結晶では1	180 psとなり、結晶サイズカ	が大きくなるほど遅延
	時間合相	引が∙ 目互付	長くだ 作用が	ょる が生	傾向じて	が見いる	られ	た。 きえら	遅延時間の発生起源として、 れる。結晶が大きくなるほど	二次元薄板状の単結晶 、広い領域に分布した	骨に閉じ込められたp-6Pの :励起子と光の間に強結合が	発光と励起子に強い結
	(2)	パル	レスエ	믿遅	延発	光の	励起	₿依存	間を要するため、遅延時間が 性 結晶を用いて、励起光の形状			の励起強度依存性を測
	定し、	った。 き形	そ(単結員	D結 晶の	果、 短軸	菱形 方向	単紀	結晶の くトラ	平行な両端面に対して垂直に イプ励起した場合は20 ps、{	:ストライプ励起した場 長軸方向にストライプ!	8合、最大遅延時間は20 psと 劢起した場合は220 psとなっ	に短かったのに対して った。また、菱形単結
	晶4	┢体ネ	キ覆-	うよ	うに	スポ	゚゙ット	-励起	!した場合は、遅延時間が360 て起こるとされているが、今 子励起子の規則配列が効果的	psと最も長くなった。	通常、このような光と励起	子の強結合は、波長サ
	51	した	_ 21	٩′	結晶	т	·— <i>i</i>)	(兀角	`于励起于の規則配列が効果的	川に彭馨していると考え	- られる。	
1	0. †	F — I	フー	ド								
	(1) 超	放射						(2) 量子コヒーレンス 	(3) 有機レーサ 	ř— (4)	
	(!	5)							(6)	(7)	(8)	
	()	È)	• E	卩吊	に	当た	つ	てに	t、A4判(縦長)・両	i面印刷すること。		(1/12)

11. 現在までの達成度

(区分)(2)おおむね順調に進展している。

(理由)

本研究の目的は、強発光性の 共役オリゴマーである(チオフェン/フェニレン)コオリゴマー(TPCO)の低次元結晶において室温で観測される時間遅れを伴ったパルス型遅延発光の起源を明らかにすることである。今年度の実施計画に上げた(1)パルス型遅延発光の観測と量子コヒーレンスの実証については、実績の概要で述べたように、今回新しい材料としてp-6P単結晶を用いて時間分解発光測定を行った結果、遅延時間の結晶サイズ依存性と励起依存性から、光と励起子の結合による量子コヒーレンスの空間スケールの影響が示唆されたことから、おおむね順調に進捗している。2つ目の実施計画として、(2)TPCO結晶の微細加工と有機フォトニクスデバイスへの応用についても、すでに電子線リソグラフィ/反応性イオンエッチングおよびレーザーエッチングによりp-6P単結晶を短冊状に加工したキャビティを用いて時間分解発光測定を進めてお

2つ目の実施計画として、(2)TPCO結晶の微細加工と有機フォトニクスデバイスへの応用についても、すでに電子線リソグラフィ/反応性イオンエッチングおよびレーザーエッチングによりp-6P単結晶を短冊状に加工したキャビティを用いて時間分解発光測定を進めており、キャビティサイズに依存した遅延時間の変化が認められている。有機フォトニクスデバイスへの応用に関しては、p型およびn型半導体性を有するTPCO誘導体の積層蒸着膜を用いて有機EL素子の作製と評価を進めており、今後、TPCO結晶を用いた素子へと展開する予定である。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

「フをの推進力限)」
これまで、TPCOの低次元単結晶において室温で観測される時間遅れを伴ったパルス型遅延発光の起源として、量子コヒーレンスが関与した集団励起子からの超放射であると考え、結晶サイズや励起法を変えて時間分解発光測定の励起強度依存性を測定してきた。その結果、通常、波長スケールのマイクロキャビティで起こるとされる励起子と光の強結合が、本研究で用いている100 μmを超えるマクロスケールの結晶キャビティを生じうることが分かってきた。励起子と光の強結合が態は励起子ポラリトンとして知られており、この起こに半導体量子井戸を用いたマイクロキャビティを用いて低温下で観測されてきた。しかし、最近、有機が料を用いて同様の励起子ポラリトンの生成が室温で報告され、従来のエキシトン由来のフォトンレーザーに対して、より低励起関値で発振する有機ポラリトンの生ができる。しかし、通常、励起子ポラリトンの生成は共振器を備えたマイクロキャビティ中で起こるとされてみり、本研究では、1で1の多外部共振器をもたないマクロスコピックな結晶キャビティをしているかは不明である。そこで、今後の研究では、TPCO単結晶キャビティをレーザー加工やリソグラフィ法を用いて波長スケールから100 μmを超えるサイズまで連続的に変化させ、パルス型遅延発光のサイズ依存性を明らかにする。また、結晶中でキャビティフォトンと励起子が結合すれば発光の角度分散が現れるいにするある。そこで、TPCO単結晶からのエッジ発光の角度分解スペクトルを測定することにより、光と励起子の間の結合状態を明らかにしている。予定である。それにより、従来のフォトンレージングとは異なり、より低励起関値で発振する新たな有機ポラリトンレージングの可能性を探る。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

(使用計画)

13.研究発表(平成26年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(3)件 うち査読付論文 計(2)件

著 者 名			論	文 標	題				
Ryuji Hirasea, Mari Ishihara, Toshifumi Katagiri, Yosuke Tanaka, Hisao Yanagi, and Shu Hotta	Alkyl-monosubstit transistor device o		e/phenylene o	co-oligomers: S	ynth€	esis, t	thin f	ilm pi	eparation, and
雑誌名		査読の有無		巻		発行	亍年		最初と最後の頁
Organic Electronics		有		15	2	0	 1 	4	1481-1492
掲載論文の「	OOI(デジタルオ)	ブジェクト識別]子)						
10.1016/j.orgel.2014.04.010									

著 者 名			論文	標	題			
	Vertical cavity sur crystals	face emitting la	asing from cyano-s	substituted	thioph	ene/ph	enyle	ene co-oligomer single
雑誌名		査読の有無	巻		多	衍年		最初と最後の頁
Applied Physics Letters		有	104		2 (4	253301/1-4
掲載論文の	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別]子)		=		-	
10.1063/1.4885382								

著 者 名			論	文	標	題				
Hisao Yanagi, Kenji Tamura, Yosuke Tanaka, and Fumio Sasaki	Optically pumped	lasing from sinç	gle-crystal ca	avity of	p-phen	ylene	oligo	omer		
雑誌名	•	査読の有無		巻			発征	亍年		最初と最後の頁
Advances in Natural Sciences: Nonoscience and Nanotechnology				5		2	 0 	 1 	4	045013/1-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)										

〔学会発表〕計(30)件 うち招待講演 計(2)件		
発 表 者 名		発 表 標 題
K. Yamashita, T. Nakahata, T. Hayakawa, Y. Sakurai, T. Yamao, H. Yanagi, and S. Hotta	Photoluminescence spectros vertical resonator	scopy for vertical emission from organic semiconductor single crystals with a
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
33rd Electronic Materials Symposium		ラフォーレ修善寺(静岡県伊豆市)
発表者名	<u> </u>	】
柳久雄、田村健次、田中庸介、佐々木史雄	p-sexiphenyl単結晶キャピラ	Fィの光励起レーザー発振
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
第75回応用物理学会学術講演会	2014年09月17日~2014 年09月20日	北海道大学(札幌市)
発表者名		
中畑拓也、早川昂志、山下兼一、櫻井優作、山雄健史、柳久雄、堀田収	TPCO単結晶を用いた垂直	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第75回応用物理学会学術講演会	2014年09月17日~2014 年09月20日	北海道大学(札幌市)
発表者名		
早川昂志、山下兼一、山雄健史、堀田収、柳久雄	TPCO単結晶からの面発光	
学会等名	発表年月日	発表場所
第75回応用物理学会学術講演会	2014年09月17日~2014 年09月20日	北海坦大字(札幌市)

発 表 者 名		発 表 標 題	
小野静之、柳久雄、佐々木史雄、堀田収	2,5-Bis(4-biphenylyl)thioph	eneの結晶成長と光励起レーザー作用	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
第75回応用物理学会学術講演会	2014年09月17日~2014	北海道大学(札幌市)	
	年09月20日		
発表者名		発表標題 	
田中庸介、柳久雄、中畑拓也、山下兼一、山雄健史、堀田収、佐々木史雄	浴融結晶化により作製した	「PCOマイクロャビティの発光特性	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所	
第75回応用物理学会学術講演会	2014年09月17日~2014	北海道大学(札幌市)	
	年09月20日		
発表者名	1	発表標題	
光 衣 自 右 佐々木史雄、望月博孝、柳久雄、山雄健史、堀田收	スライドボート法による融液		
	7771131 172100 0103707	3 3 0 13 (WHI HILL) 11 4C	
¥	****	3% ± 18 cc	
学会等名 第75回応用物理学会学術講演会	発表年月日 2014年09月17日~2014	発表場所	
第73凹心用初理子云子 们 确决云	年09月20日	16/举旦人子(化院巾)	
	•		
発 表 者 名		発 表 標 題	
Hisao Yanagi, Kenji Tamura, Yosuke Tanaka, and Fumio Sasaki	Light amplification in single	-crystal microcavity of p-sexiphenyl	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and	2014年09月21日~2014	つくば国際会議場(つくば市)	
Photonics	年09月24日		

		2 nix
発 表 者 名		発 表 標 題
Yasuyuki Ono, Fumio Sasaki, and Hisao Yanagi	Fluorescence and amplified	emission properties of single-crystal 2,5-bis(4-biphenylyl)thiophene
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics		
7. ± + 4		DV 12 D2
発表者名 Hisao Yanagi, Kenji Tamura, Yosuke Tanaka, and Fumio Sasaki	Optically pumped lasing from	発表標題m single-crystal cavity of p-phenylene oligomer
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
The 7th International Workshop on Advanced Materials Science and Nanotechnology(招待講演)	2014年11月02日~2014 年11月06日	Grand Ha Long Hotel (ハロン市、ベトナム)
	1	
発表者名		発表標題
佐々木史雄、望月博孝、柳久雄、堀田收	スライドボート法による有機	福苗·溥·族 作· · ·································
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
レーザー学会第468回研究会「有機固体レーザー」	2014年11月28日 ~ 2014 年11月28日	京都工芸繊維大学(京都市)
発表者名	T	
山下兼一、中畑拓也、山雄健史、柳久雄、堀田収	■ 面内配向有機単結晶による	
学 会 等 名 レーザー学会第468回研究会「有機固体レーザー」	発表年月日 2014年11月28日~2014	発表場所 京都工芸繊維大学(京都市)
P J JANTOURNIZEA FIREIRE 9 1	年11月28日	NAME A COMMENT (AN ENTRY)

			2 NX
発 表 者 名		発 表 標 題	
柳 久雄、田村健次、田中庸介、佐々木史雄	TPCO誘導体単結晶の光励	カ起レーザー発振 	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
チーズ・サーロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		京都工芸繊維大学(京都市)	
	年11月28日		
発表者名	1	 発 表 標 題	
山下兼一、後藤要、早川昂志、山雄健史、堀田収、柳久雄	有機単結晶微小共振器にあ		
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
電子情報通信学会光エレクトロニクス研究会/有機エレクトロニクス研究会	2014年11月21日~2014 年11月21日	機械振興会館(東京都港区)	
W + + 4	1	75	
発表者名 田中庸介、柳久雄、中畑拓也、山下兼一、山雄健史、堀田収、佐々木史雄 田中庸介、柳久雄、中畑拓也、山下兼一、山雄健史、堀田収、佐々木史雄	溶融結晶化により作製したる	発 表 標 題 有機マイクロキャビティの発光特性	
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
第25回光物性研究会	2014年12月12日~2014 年12月13日	神戸大学(神戸市)	
発表者名	1	発 表 標 題	
大森健三、堀江徹、柳久雄、香月浩之	光位相変調技術を用いた量		
学 会 等 名	発表年月日	発表場所	
第25回光物性研究会	2014年12月12日~2014 年12月13日	神戸大学(神戸市)	

		2 AIX
発 表 者 名		発 表 標 題
後藤要、中畑拓也、山下兼一、山雄健史、堀田収、柳久雄	TPCO微小共振器における	光子-励起子相互作用の評価
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
第25回光物性研究会	2014年12月12日~2014 年12月13日	
発 表 者 名	1	
Shohei Dokiya, Yasuyuki Ono, Fumio Sasaki, Shu Hotta, and Hisao Yanagi	Organic light-emitting diod	es with heterojunction of thiophene/phenylene co-oligomer derivatives
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
11th International Conference on Nano-Molecular Electronics	2014年12月17日~2014 年12月19日	神戸国際会議場(神戸市)
発表者名		
Hitoshi Mizuno, Fumio Sasaki, Shu Hotta, and Hisao Yanagi	Optically pumped lasing fro	m single crystals of thiophene/phenylene co-oligomers
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
2014 International Conference for Leading and Young Materials Scientists (招待講演)	2014年12月21日~2014 年12月25日	Huayu Resort & Spa (サンヤ市、中国)
光 表 者 名		
水野斎、佐々木史雄、堀田収、柳久雄	(チオフェン/フェニレン)コオ	光 43 15 25 17 17 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本学術振興会情報科学用有機材料第142委員会	2015年01月28日~2015 年01月28日	PORTA神楽坂(東京都新宿区)

発 表 者 名		発 表 標 題
山下兼一、山雄健史、柳久雄、堀田収	高配向有機単結晶を活性履	層とした微小共振器からの特異発光特性
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日本学術振興会情報科学用有機材料第142委員会	2015年01月28日 ~ 2015 年01月28日	PORTA神楽坂(東京都新宿区)
発表者名	T	発 表 標 題
小野静之、柳久雄、佐々木史雄、堀田収	2.5-Bis(4-biphenylyl)thioph	eneの結晶成長と発光増幅特性
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
応用物理学会関西支部平成26年度第3回講演会「関西発グリーンエレクトロニクス研究の進展」	7 2015年02月27日 ~ 2015 年02月27日	奈良先端科学技術大学院大学(奈良県生駒市)
	1	
Frieder L. Muentze, Hisao Yanagi, and Derck Schlettwein	Enitaxial Growth and Photo	luminescence of a-Sexithiophene on KCI- and Si/SiO2-Substrates
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
DPG Spring meeting 2015	2015年03月15日~2015 年03月20日	ベルリン工科大学(ベルリン市、ドイツ)
光 表 者 名		
田村健次、佐々木史雄、柳久雄	サイズ制御したn-sevinheny	光 15 及 15 区 日本語 日本
	7 TYND EF CICE COMPINITY	THE TO TO TO THE TOTAL OF THE T
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
第62回応用物理学会春季学術講演会	2015年03月11日~2015 年03月14日	東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)

発 表 者 名		発 表 標 題
田中庸介、後藤要、山下兼一、山雄健史、堀田収、佐々木史雄、柳久雄	TPCO結晶マイクロキャビテ	ィの角度分解および時間分解レーザー特性
学 会 等 名	発表年月日	発表場所
第62回応用物理学会春季学術講演会		東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)
	年03月14日	i '
発表者名		発 表 標 題
佐々木史雄、望月博孝、柳久雄、堀田收	スライドボート法によるダブノ	ルヘテロ構造有機結晶薄膜作製
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第62回応用物理学会春季学術講演会		東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)
	年03月14日	
発表者名		発表標題
光 祝 有 石 土器屋翔平、佐々木史雄、堀田収、柳久雄	(チオフェン/フェニレン)コオ	光 衣 伝 超 リゴマー誘導体積層膜を用いた有機EL素子
	() () () () ()	
244 A 655 A	7V. + F. D. D.	70. + 10.00
学 会 等 名 第62回応用物理学会春季学術講演会	発表年月日	発表場所 東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)
第62凹心用物理子云 替 字子桁誦澳云	年03月11日~2015	宋/母人子/相関キャノハス(神宗川宗平塚印)
	1 3 3 3 3 4	
	•	
発 表 者 名		発 表 標 題
畑野良太、田中庸介、山下兼一、山雄健史、堀田 収、佐々木史雄、柳 久雄	シアノ置換TPCO誘導体結晶	晶を用いたマイクロキャビティの発光特性
		発表場所
第62回応用物理学会春季学術講演会		東海大学湘南キャンパス(神奈川県平塚市)
	年03月14日	.,,

							4 hIX
発 表 者 名			発 表		夏		
水野斎、谷尻尚之、川西有輝、石墨淳、柳久雄、廣光一郎	有機色素	₹J会合体を用いた	マイクロキャビティの光学	特性			
¥	77	*====	Т	אַכּ	± 18		
学 会 等 名 第62回応用物理学会春季学術講演会		後表年月日 13日11日 ~ 2015	東海大学湘南キャン		表場		
NOCEHONINAL I KIET I KIETKA	年03月		N/9/CJ /MH	, 62 (14.2	1000	-3(15)	
発表者名			発表	標	·····································		
水野斎、垣内君斗、東影勇介、石墨淳、柳久雄、廣光一郎	酸化亜鉛	3微粒子とアントラも	Zン誘導体間のエネルギ	一移動			
	7.7		T	彩	表場	5F	
第62回応用物理学会春季学術講演会		03月11日~2015	東海大学湘南キャン				
[図書] 計(0)件	•						
著 者 名				出版	社		
書名				発 行	庁年 	総	ページ数
14.研究成果による産業財産権の出願·取得状況 (出願) 計(0)件							
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類	、番号	出原	順年月日	国内・外国の別

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

_15.備考		